令和7年度余市町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

余市町は古くから道内有数の果樹産地として知られているが、施設野菜の栽培も広く行われており、多種多様な作物が生産されている。農業経営は果樹・野菜を中心に稲作・花卉、酪農と多岐に渡っており、稲作については農家 1 戸あたりにおける水稲作付面積が小さく、果樹または野菜栽培との複合経営によって行われている。水田農地の有効活用としては、経営主力作物の野菜、果樹などへの転作である。また、高齢化や後継者不足が顕著になってきていることから、転作田の耕作放棄を防止することが重要な課題となっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力 強化に向けた産地としての取組方針・目標

余市町の特色を生かした、野菜や果樹を中心として水田作付と比較して同程度か、それ以上の所得が確保できるように安定した生産量や品質を確保し、今まで以上の所得の確保に繋がるような農業環境の整備を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

余市町における課題において、水田や転作田の耕作放棄の防止の為、水田の活用状況や 休耕となっている水田地所有者へ省力栽培が可能な作物や、現在作付している作物の他に 栽培可能な作物を提案するなど持続可能な農業を推進していくことを目標とし、水田のブ ロックローテーションの策付け意向を調査しながら難しい場合は畑地化を選択しとして支 援していくことを木芳とする。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

食料の安定供給や環境の保全など、水田のもつ多様な機能面を考慮し、良質米生産地として生産を維持していくことを目標と設定する。

- (2) 備蓄米
- (3) 非主食用米
 - ア 飼料用米
 - イ 米粉用米
 - ウ 新市場開拓用米
 - エ WCS 用稲
 - 才 加工用米

- (4) 麦、大豆、飼料作物
- (5) そば、なたね
- (6) 地力增進作物
- (7) 高収益作物

野菜

「アスパラガス (グリーン)、「いちご」、「いんげん」、「うり」、「えだまめ」、「きゅうり」、「ささげ」、「さやいんげん」、「さやえんどう」、「スナップえんどう」、「すいか」、「なす」、「なんばん」、「ピーマン」、「みずな」、「たまねぎ」、「ミニかぼちゃ」、「かぼちゃ」、「ミニトマト」、「トマト」、「とうもろこし」、「しそ」を振興品目として拡大する。

余市町が野菜指定産地に認定されている「トマト」、「ミニトマト」は特に実需者ニーズがあり、指定産地としての地位を確立していく為、作付の維持・拡大を目指し重点振興作物に位置付ける。また、水田転作からの作付野菜として当再生協議会が長年推奨してきた「かぼちゃ」は省力化栽培ができ、不作地解消に貢献してきたものであい、

作付の維持・拡大を目指し重点振興作物に位置付ける。

果樹

「りんご」、「ぶどう」、「なし」、「もも」、「栗」、「梅」、「すもも」、「ブルーベリー」、「ハスカップ」、「プルーン」、「マルメロ」、「アロニア」、「くるみ」を振興品目として維持・拡大する。

5 作物ごとの作付予定面積等 ~ 8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧(会員名簿)を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
1F1% 4		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	20. 66		20. 69		20. 69	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦						
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力增進作物						
高収益作物						
• 野菜	0. 37		0		0	
・花き・花木						
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他						
.00						
畑地化	0. 37		0		0	

6 課題解決に向けた取組及び目標

○ 保色性のに対した					
整理	対象作物	使途名	目標		
番号		2	1	前年度(実績)	目標値
┃ ┃		1	作付面積拡大	(令和6年度)	(令和9年度)
単点放発作物作的	'	旧凹曲恒加入	0ha	1ha	
2 重点振興作物作付	1	作付面積拡大	(令和6年度)	(令和8年度)	
			0ha	1ha	
3 地域振興作物作	地域振興作物作付	1	作付面積拡大	(令和6年度)	(令和8年度)
	-0.9000001101111111111111111111111111111			0ha	1ha

[※] 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

#REF!

協議会名:

整理番号	使途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	重点振興作物作付	1	21,000	トマト・ミニトマト	作付面積に応じて支援
2	重点振興作物作付	1	18,500		作付面積に応じて支援
3	地域振興作物作付	1	16,000	野菜・果樹(トマト・ミニトマト・かぼちゃを除 く)(詳細別紙)	作付面積に応じて支援

^{※1} 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してくだ ※1 — 七作及び粉面連携で対象でする反応性の、にどめなことができるものとします。
ただし、二毛作及び粉畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
ただし、二毛作及び粉畜連携の二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。
※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

整理番号3 詳細別紙 対象作物リスト(作物別)

果樹	りんご・ぶどう・なし・もも・桜桃・栗・梅・すもも・ブルーベリー・ハスカップ・ プルーン・マルメロ・アロニア・くるみ
野菜	アスパラガス(グリーン)・いちご・いんげん・うり・えだまめ・きゅうり・じゃがいも ささげ・さやいんげん・さやえんどう・スナップえんどう・すいか・なす・なんばん みずな・たまねぎ・ミニかぼちゃ・とうもろこし・ピーマン・しそ・にんにく